

演題番号	筆頭発表者	演題名
01	田中卓也	『おとぎの世界』に関する読者の研究—大正自由教育とともに消えた児童雑誌の光と影—
02	吉富 萌	高校生国体候補選手への栄養教育アプローチ—行動段階モデルによる教育効果の評価—
03	杉尾直子	高校生国体候補選手への栄養教育アプローチ—性別を踏まえた教育を行うための一考察—
04	木村志緒	食に関する指導の在り方の研究—児童の朝食における料理数と食意識との関連—
05	杉山亜紀	食に関する指導の在り方の研究—児童保護者が給食献立表を見ることと食意識との関連—
06	阿萬千穂	食に関する指導の在り方の研究—児童保護者における母親の就業と食意識との関連—
07	辻井晴名	テキストチャットにおける生理指標の可視化手法の提案
08	王 舜賢	台湾と日本の家庭科教科書に描かれた食育
09	中村一暁	キャラクターと一緒に学ぶ映像学習支援システムの開発
10	河田承子	情報行動・教育観・育児ネットワークの関係に着目した母親の育児情報活用に関する調査
11	所真里子	子どもの傷害予防：保護者に伝わる機能・安全表示とリスクコミュニケーションに関する考察
12	黒崎律子	保育における正座の効果（個別・集団）についての一考察
13	中山志穂	親子で楽しむ E-VChat—身体的引き込みでつながる対話空間—
14	塩見昌裕	小学校の理科室で活動するロボット
15	塩見昌裕	保育行動認識に関する取り組み
16	澤 菜々美	授業参加のきっかけ作りを支援する挙手ロボットの提案
17	島田将喜	野生ニホンザルの社会的遊びのネットワーク—共同育児の場としての役割を考える—
18	瀬尾知子	母親の養育態度と母親の食意識・食事のしつけ方の関連
19	宮下孝広	社会的実践としての読み聞かせ活動の発達の意義
20	佐藤朝美	Family Narrative 支援活動「未来の君に贈るビデオレター作成 WS」の実践と評価
21	山田小百合	ミニチュア「まち遊びキット」を用いたワークショップの開発
22	鈴木 勲	児童相談所一時保護所における子どもの暴力問題に関する研究—職員の職務状況及びケア意識の分析をととして—
23	鈴木祥子	複数言語環境で育つ子どもの日本語習得—保育園 1～2 歳児クラスでの行動観察より—
24	中茂睦裕	離れて暮らす孫と一緒に楽しむ「デジタル絵本読み聞かせ」システム
25	戸次佳子	2-3 歳児の遊びにおける行為の自発的な修正と方略の獲得
26	松阪崇久	マハレの野生チンパンジーにおける、多様な遊びと学び
27	岡田秀希	文理融合型の科学教室の実践を通じた児童の理数教科への関心度の評価
28	浅井拓久也	保育者の子どもの診る目の育成にかんする試論—エピソード記述の批判的検討を通じて—
29	高梨和紗	母親の育児不安に関する研究—育児不安軽減を明らかにする質問紙作成について—
30	柳澤弘樹	発達の遅れが気になる子の認知機能と身体運動の関連について
31	寺田泰晃	霧を用いた表現メディア空間の設計と遊び場への活用
32	生駒 忍	小学校低学年保護者用放課後生活空間評価尺度の確認的因子分析
33	渡部 茂	子ども大学の開校—明海大学歯学部での取り組み—
34	中山隆弘	芸術作品の対話型鑑賞場面における遠隔操作型ロボットによる支援の試み
35	瀬島吉裕	科学工作教室における工具の取り扱いに関する一考察
36	山田貴志	腕相撲ロボットと児童の力比べ！
37	後藤 淳	行動識別を活用した園内遠隔見守りシステムの開発
38	鶴岡浩平	児の遠隔服薬支援のための患者—薬剤師間コミュニケーションシステム
39	塙 拓人	小児診療所向け患部画像データベースシステム
40	宮川達彦	ノベルゲームの利用を通じた患児アドヒアランス向上
41	岡崎順子	「県大そうじゃ子育てカレッジ」の取り組みの現状と課題
42	長田有子	被虐待児に対する治療—施設の療育から里親支援へ—
43	大橋節子	不登校経験のある高校生の学校適応およびレジリエンスに対する演劇活動の効果—K 高校パフォーマンスコースの実践から—